

■特集 JBパリ展来賓挨拶



PVへ喜んで尾州企業を受け入れ

ダニエル・フォール PV E 会長



尾州地方のテキスタイル企業の現代的な製品と日本の伝統的な織物を紹介する大変すばらしい展示会開催を祝うセレモニーに、今夜、皆様とご一緒に出席できることを、大変光栄

に思います。

皆様の中にはすでにご存知の方もいらっしゃると思いますが、私は長年にわたり日本の愛好者であります。私は、私の家族が経営していたジュリアン・フォール社の若い営業部員だった、今から 35 年前の 1970 年に初めて日本に行きました。当時から現在に至るまで、日本に対して常に変わらぬ愛着を抱いているのは、会社の取引の多くが、日本企業との間で行われたということもありますが、むしろ、生まれてから死ぬまでの長い人生において、人間と常に係わりを持つ「テキスタイル」という製品を通じて、皆様と親睦を深めることができたことによると思います。

私は、リボン製造、絹織物製造という地元産業に深く根づいた家庭の出身であり、その出身を大変誇りに思っておりますが、日本企業においても伝統に基づいた質の高い仕事に対する同様の誇りを発見しました。私どもの職業、価値は先祖伝来のノウハウにより培われたものです。また、各世代において、大学の研究者へ知識を提供することにより、特殊テキスタイル分野における前衛的なテキスタイルを創意工夫することを知っておりました。

尾州の織物の歴史は大変古く、1300 年以上前にさかのぼります。リヨン地方の歴史は約 500 年であり、尾州と比較すると生まれたば

かりの子供のようなものです。

尾州は、テキスタイル関連製品の世界的展示会「プルミエール・ヴィジョン」開催期間にあわせて単独展示会開催することを選択しました。リヨンのグループ企業により始められた同展示会は、出展企業 750 社、35,000 人のバイヤーが訪れるファッションと流行関係者が一堂に会する重要な展示会です。尾州の選択を我々は大変光栄に思っております。

ご存知の事とは思いますが、18 社の日本企業が「プルミエール・ヴィジョン」に出展しております。その中には皆様の地方、私が 2003 年にまいりました“一宮”にある会社もあります。日本からの出展企業数は上昇の一方ですが、出展審査があり、同業者に認められ、かつ創造的で質のよいコレクションを発表する企業のみが出展することができます。尾州地方の別のテキスタイル企業も同展示会参加を検討しているようですが、我々は喜んで尾州企業を受け入れたいと思っております。尾州の特色を同展示会にもたらしめると期待しております。

ノウハウと評判に基づいた品質、創造性、時代への反応が成功の秘訣です。皆様はすでに、成功に必要な物を持っており、それを周知させるための方法を与えられています。すばらしいテキスタイルを製造するだけでは十分ではなく、それを発表しなければなりません。今回の単独展はその良い例です。

ジョイント尾州とその企業のこれからのご活躍をお祈りするとともに、今回のすばらしい尾州テキスタイルの展示会に対し、改めて感謝の意を表します。

(訳：ジェットロ・パリセンター)